

日本感性工学会論文誌における J-STAGE Data へのデータ投稿について

本資料は、J-STAGE Data へデータを投稿する場合の手続きと注意点をまとめたものである。

データ投稿は、論文投稿に伴うデータの投稿である。投稿時に、J-STAGE に論文とともに掲載される形のデータ投稿か、DOI が付される J-STAGE Data への投稿のいずれかを選択すること。J-STAGE Data へのデータ投稿は、原稿とともに、データに対しても査読者による査読がなされる。採録後は、オープンアクセス可能な形で公開され、データそのものにも DOI が付された上で論文とのリンクがはられる。

掲載の様子や、通常のデータ投稿と比較した場合のメリットは、JST が公開している J-STAGE Data に関する資料から確認できる。

<https://www.jstage.jst.go.jp/static/pages/JstageData/about/-char/ja>

査読前からの投稿手続き等も含め、J-STAGE Data へのデータ投稿の手続きを説明する。

<投稿時> 論文投稿のページから原稿投稿をする際に、対応するデータをアップロードする。ファイル容量は、1 ファイルあたり 5GB までとする。なお、本誌の論文投稿のページから、大容量データをアップロードできない場合がある。その場合は別途対応する。編集委員会（editor_j@jske.org）に連絡すること。

投稿の対象となるデータは、論文の根拠となるデータや実験プロトコル、プログラム、図表、音・動画等のメディア等とする。投稿データについては本学会への著作権譲渡を行わない。CC ライセンスは著者自身が決める、デフォルトは CC BY 4.0 である。

また、著者によるメタデータ（データのタイトルや概要など）の提出等の作業が必要となる。具体的な作業は、編集委員会からの指示に従うこと。

<採録決定後>

データ公開の手続きは、編集委員会により行われる。なお、編集委員会からの手続きによりエンバゴ(embargo：公開禁止)期間の設定が可能であるが、デフォルトはエンバゴ設定なしとする。設定を希望する場合は、その理由を編集委員会へ連絡すること。

<掲載後> J-STAGE Data にデータ掲載後の処理として、下記2点に留意すること。

- (1)データの修正は上書きではなく古い版も残る。
- (2)撤回する場合、撤回理由の記述が求められる。データ自体の撤回後もメタデータは残る。

2023 年 11 月 11 日 日本感性工学会編集委員会